

9月30日は碓氷線の
廃線記念日です。
あの日、あさま37号
を見送った光景と汽笛
は忘れられません。

背景ときっかけ

（信越本線碓氷峠・横川・軽井沢間）は、1997年9月30日を最後に新幹線と引替に廃線になりました。主要幹線の複線区間で廃線になったのは碓氷峠が日本で初めてです。廃線後21年の歳月が経ち、先人が築いた線路は、碓氷の山に遺つてしまいました。

下り線側は、2006年頃に特定目的鉄道の観光鉄道にする構想があり、モーターカーによる除草剤散布が毎年行われていたため、現在でも比較的良好な状態ですが、上り線側は、廃線時から手なげられず遺棄されたような状態であり、線路敷きや法面に生えた灌木も大木になり、最早、手遅れに近い深刻な状況でした。

2017年10月に軽井沢町が碓氷線のトンネルをミサイルのシェルターにするという構想から、トンネル手前の灌木切りと除草を行い、今にも列車が走れそうな線路が出現しました。

それを見ていたら、横川側の線路も草刈りと灌木切りをすれば蘇るのではないかと閃きました。信越本線の高規格線路を敷く中で朽ち果てさせては勿体ない。先人たちが苦労して守り続けた線路の景観は後世に残すべきだと言う思いが湧いてきました。

鉄道は人の心の拠り所であり続けました。廃線になっても線路は財産です。この線路を活用して線路遊びを楽しむようなことができれば、地域興しにもなると考えています。草刈りをした線路の景観を末永く維持していくための手段の一つとして軌道自転車を考えてみたいと思います。

当会の活動エリア

安中市から線路敷立入許可を受けた当会の活動するエリアは、主に上り線での湯付近から1号トンネル出口まで、および下り線の峠の湯付近から2号トンネル入口の手前までの何れも露天の線路敷きです。峠のトンネルを除外したのは、

当会の作業エリア

A点、B点は作業開始拠点、C点はアプトの道分岐点



碓氷峠鉄道再生研究会 会報

（碓氷線草刈りの会）

令和元年9月30日発行
第1号（年2回発行）
発行責任者 嶋村純一
〒379-0223 安中市松井田町
二軒在家 307-8
TEL: 027-393-1531
usuitouge@gmail.com

碓氷峠 鉄道再生 研究会



年月を経たトンネルの安全性が不明なためです。草刈り作業は、2018年7月から開始しました。会員5名でエンジン草刈り機3台とチェンソー2台を駆使して、約6ヶ月かけて上り線の峠の湯付近から1号トンネル出口までの草木を取り除き開通させました。同時期に下り線のほうを安中市観光機構が草刈り

を始めました。観光機構は10月に第1回の廃線ウオークを開催しました。いかなる形であれ、碓氷線が活かされるのは喜ばしいことです。2019年3月には、上り線の廃線ウオークも実施され、左図の部分より廃線ウオークのコースの選択肢も拡がりました。（嶋）

活動経過

2018年
4月1日 メンバー5名で碓氷峠鉄道再生研究会（通称：碓氷線草刈りの会）を結成
5月17日 安中市へ線路敷き立入許可申請書を提出
5月25日 線路敷き立入許可書受領
5月26日 安中市の市民活動推進事業補助金に応募書類提出
6月26日 応募者多数によりプレゼンテーションにて選考
3団体の採用枠に対して6団体が応募
安中市役所にてプレゼンを行う。（3名にて出席）
不採用が決定
事業計画と実効性に乖離が感じられるとの意見あり
市の補助金事業には不採用になったが、自前にて活動を開始する。
7月1日 7月から作業を開始して12月22日まで、計16回、延べ196時間の作業を行い、上り線を発掘し線路敷を普通に歩けるまでに整備しました。
12月22日 上り線1号トンネル出口まで到達して初年度の草刈り作業を完了。



軌道自転車の試作と走行実験



軌道台車による除草剤散布



草刈りのメンバー

2019年	1月	3月	4月	17日	5月	9日	29日	30日	6月	13日	18日	7月	3日	18日	8月	2日	29日
-------	----	----	----	-----	----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	----	-----	----	----	-----

軌道自転車の検討を開始
軌道自転車の歴史、種類、構造等に関する調査を行い碓氷線の6.7パーミルの勾配に対応出来る構造を検討、試作の構想を準備。
軌道台車にエンジン噴霧器を搭載して除草剤散布の試験を行う。
県道立体交差付近から東側の峠の湯付近までの草刈りを実施。
草刈りと切り株や蔓の除去を実施。
第1回目の軌道自転車走行実験、課題抽出を行う。
1号トンネル出口までの草刈り作業を行う。
第2回目の軌道自転車走行実験を行う。
課題抽出の段階です。
東吾妻町の自転車型トロッコの試験走行会を見学。会員3名にて参加。
県道立体交差から東側の草刈りを行う。



会員募集中

当会の活動に賛同いただける方、ご協力をお願いします。

- ・草刈り会員 草刈り作業等に参加いただける方（草刈り機無くても、鎌やノコギリ、剪定バサミ等で参加可）
 - ・協賛会員 当会の活動を応援していただける方（会費はご寄付として使用させていただきます。）
- 年会費；千円（4月から3月まで） 草刈り機の燃料代、夏場のお茶代、作業の保険料、軌道自転車の部品代、事務費等に使用させていただきます。年2回会報発行。
※安中市からの線路敷立入許可の条件として【会員の責に帰すべき事由により、施設または第三者への損害が発生した場合は、その損害を賠償すること。】という条項があります。責任を持って作業していただける方の参加をお待ちしています。問い合わせ先；usuitouge@gmail.com TEL;027-393-1531（嶋村） URL; http://www.bea.hi-ho.ne.jp/ef62/



スポンサーご協力ありがとうございました。(事務局)

試作を重ね実験走行が進んでいる当会オリジナルの軌道自動車の車体名は、孫の名前「〇一」...

碓氷線の線路発掘 信越本線横川・軽井沢間の上り線線路を山に選んでしま...

会員の投稿

碓氷線 最終列車 横川・軽井沢間 碓氷線が廃止になってから、早や22年が経過しました...

碓氷線との出会い 碓氷線との出会いは、1985年の7月。高校の部活で夏合宿で「あさま」を利用...

碓氷線は日本の歴史の中で非常に重要な意味を持っていたことを理解しました。RM MODELS を作成し、RM MODELS に掲載して頂きました。

架線に巻きついた 碓氷峠は大昔から交通の難所です。東山道、中山道と永く続いた時代、首都圏と日本海地方...

最後の「あさま37号」が横川駅に入線してきました。多くの人々が見守る中、EF63が連結され、ホームでは乗務員への花束贈呈...

廃止された一年後に横川駅を訪れ、赤く錆びた鉄路、静まり返った駅、EF63のない横川運転区を見て現実の寂しさを感じました...

また、このまま碓氷新線を朽ち果てさせていくことは、碓氷線を築いた先人の方に失礼にあると思います...

晩秋の草刈り風景 アプトの道分岐手前の辺りに草刈りです。草刈り作業も終盤に近い秋の日の風景です。(大盛)

廃線から21年の歳月で山に還った上り線を蘇らせました



約6ヶ月間の草刈りと立ち木伐採の作業で山に還っていた上り線線路を掘り出し、「峠の湯付近」から「1号トンネル出口」まで歩けるようになりました。2019年3月には、上り線での廃線ウォークが開催されました。

上り線（露天の線路） 往時の風景と比較

この区間の景観を鉄道公園として残したい。



往時の県道56号線に並走する信越線の風景



【廃線後21年を経た県道脇の信越本線】この線路を発掘しました。



県道脇第1階段付近 EF63重連+489系あさま



上り線 EF63の5重連 下り線 489系あさま